

環境・エコロジー省

中央アフリカ共和国

官房局

環境総局

国連気候変動枠組条約  
(UNFCCC)

№056/MEE/CCAB/DGE/CCNUCC.-

国連気候変動枠組条約 (UNFCCC)

事務局長殿

P.O Box 260 124 53153 Bonn, ドイツ

**内容** : コペンハーゲン合意に基づく国内における適切な緩和行動 (NAMAs) に関する提案の提出

参照番号 : YD8/DBO-dri/18 01 2010

事務局長殿、

標記の貴殿の書簡に関しまして、中央アフリカ共和国は、国連気候変動枠組条約締約・京都議定書批准国として、最近の書簡において、コペンハーゲン合意への完全な同意を表明した旨、ご報告いたします。中央アフリカ共和国は、その社会・経済的状況に合致した国内における適切な緩和行動を取るとの計画を立てております。同行動のリストは本書簡に添付されています。

中央アフリカ共和国は、中進国として、その行動推進のために、資金、技術、能力強化の面における支援を必要としています。

事務局長殿、略儀ながら、書中をもちまして、心からの敬意を表します。

(印) 環境・エコロジー大臣  
フランソワ・ナウエヤ

別表Ⅱ：国内における適切な緩和行動（NAMA）

非附属書Ⅰ国	行動
中央アフリカ共和国	再造林、森林整備、FLEGT 行動計画による国土に対する森林カバー率の 2005 年の 11%から 2050 年を目処とする 25%への上昇
	生産森林の持続可能整備と認証の奨励
	植林の奨励と村落レベル、共同体レベルおよび個人レベルでの植林地利用
	非木材森林生産物の奨励と利用
	REDD（森林の減少及び劣化に起因する温室効果ガス排出削減）関連行動の充実化；削減能力：現在、評価中
	窒素固定種の利用による改善技術の奨励
	飼料用牧草播種拡大とその田園地域（Ouham、Ouham-Pendé、Nana-Mambéré）における普及
	農家における改良農作物種子生産拡大
	中央アフリカ共和国の大都市家庭廃棄物（固体および液体）の緑肥およびエネルギー（バイオガス）の生産による再利用
	新都市化ゾーン構想プログラム、エネルギー消費最適化と都市拡張化制限の原則の導入
	エネルギー効率化と再生可能エネルギーを盛り込んだエコロジー農村建設を目指す農村地域新住居プログラムの推進
	水力発電用ダム Bouali I、II、IIIの修復、
	Toutoubou、Baidou、Nakombo-Soso、Kembé、La-Mbi 等の国内の滝を利用した、2030 年を目処とする、各出力 4MW、合計出力 35MW の小型水力発電所の建設
	改良型住居の使用
	中央アフリカ共和国の伝統的エネルギーの制御
	4,000MW 規模の風力発電施設の拡充：2012 年には 1,000MW。これは多大な削減可能性を伴う。
	大都市圏における自動車排気ガス排出制限
	天然ガス（ブタン）輸入プログラム。目標は、80%の家庭利用。
	風力発電および省エネルギー型電球に対する全国的意識向上運動
	衛星画像受信中継施設の設置
国立環境観測所の設立	